

## 7月31日(木) 研修×3

本日は、3つの研修に出かけました。午前中は国立障害者リハビリセンターにて「**聴覚障害の療育**」の会議。障害があることによる、困り感について体験を交えて学びました。音による情報が正しく入ってこないことはたいへんな**ストレス**になることを体感しました。他の人が分かっている場合には、**自己嫌悪**にも陥るほどでした。様々な障害のある児童への、ていねいで寄り添った**支援**が必要だと考えさせられました。

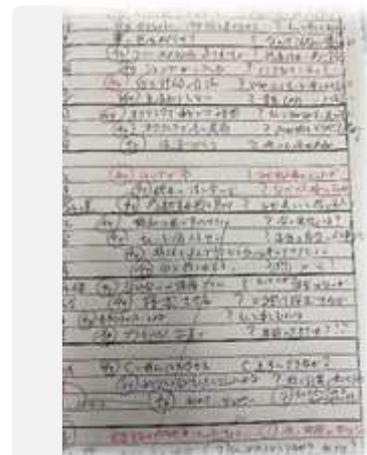
午後は、入間市産業文化センターにて「**不登校の学びと支援**を考えるシンポジウム」に参加。入間市や国の状況や、先進的に取り組んでいる市の実践についての講話を聴きました。貴重な話で、いくつか手帳にメモをしました。本校でも**できそうなこと**を、です。今年度から設置した「**茶一室**」をもっと機能させたいと強く感じました。すぐに環境を整えたいです。

18時からサントリーホールで行われた「**めざましクラシック**」を参観しました。初めて参加したのですが、とても楽しくてあっという間に時間がたちました。軽部、高嶋両氏の軽快なMCと、素敵な**音**。演奏者の楽しそうな**表情**、すべてを体全体で受けとめてきました。**音楽**のよさやそれを奏でる楽器のすばらしさ、**楽器**や**音楽**をこよなく愛する**プロフェッショナル**に、とても感動しました。



## 7月30日(水) 指導案

9月11日に西部教育事務所による**学校指導訪問**があります。この日は、授業や学校経営についての指導をいただきます。その指導案が本日までに私のもとに届きました。それをもとに、一人ひとりの職員と「どんな授業にするか」の**ヒアリング**をしています。といっても「こんなことしたら楽しそうだ」「何か新しいことをやってみよう」など、構想を広げる**雑談**に近いものです。私にとっては、



授業を考えるのは一番**楽しい時間**です。

## 7月29日（火）子供を支える

午後、入間市**スクールリーダー研修会**がありました。スクールソーシャルワーカーの方から、子供たちをどのように支えていくべきかという講演でした。複雑な家庭環境で育てたことで、大人を信じなくなった子を救った話などなど、涙なしでは聴けない内容でした。大事なことを2つ、手帳に書き記しておきました。「**絶対にあきらめない**」「**多くの人と手を組んで子供を支える**」。



## 7月28日（月）ドッグ

今週は各地で研修会が行われているため、出張する職員が多く、学校での会議等はありません。私は年に一度の人間ドッグ。今年はこの日がたまたま空いていたので、例年より早めに受けることができました。結果は後日送られてくるのですが、学校の学力同様に**結果がとても気になります**。昨日の夕食を早めに済ませ、朝食を抜いての検査後の食事はとってもおいしかったです。「**これぞ、ごちそうだ**」と、毎年感じます。健康だからこそ、おいしくいただけるのだと、**感謝**の気持ちを抱きました。



## 7月27日（日）お祭り

本日も、とある市のお祭りに行ってきました。**12時開会**ということで、昨日よりも暑さを感じました。そんな中でも店を出している地域の方々は、**汗だく**で活動しています。本当に頭が下がる思いです。子供たちを**喜ばせたい**、町を盛り上げたいという思いは、どこでも同じだと感じました。暑さが毎年厳しくなっている昨今、運営の方々の体調が気になってしまいます。



## 7月26日(土) 夏祭り

本日は学区内、三カ所で夏祭りが開催されました。準備や運営をしていただいている方々には頭が下がる思いでした。それくらい、夕方でも暑さが身に染みしました。子供たちが楽しそうに参加している姿もたくさん見ることができました。また、私より年を重ねた方々の元気な姿にも勇気づけられました。地域のお祭りが盛り上がるというのは、町が元気な証拠。楽しい時間を過ごしました。



## 7月25日(金) 停電・会議・粘土

本日もほぼ全員が一日出勤です。全員が顔を合わせることは、しばらくなくなります。貴重な一日ですが、一時間の停電がありました。もちろん計画的に実施したものです。この時間だけは会議も研修もできませんでした。耐えました。電気がついた瞬間には、職員から歓声が起こりました。クーラーのありがたさを痛感しました。

会議は、校内研修、卒業式、入学式について、3本続きました。「もうやるの」という声が聞こえてきそうですが、大きな行事については、今、時間がたっぷりあるときに話し合っておくことが大事なのです。すでに来年度のことでも話題になってきています。

研修では、粘土で作品を作りました。職員それぞれが個性的な創作をしていました。子供たちにやらせる前に自分たちもやる、研修の基本姿勢です。この作品は、市内の学校で焼いて完成します。夏休みならではの楽しい研修だったと思います。



## 7月24日(木) LD・倫理・指導案

本日は一日、職員研修です。特別支援教育、生徒指導、倫理確立、学校指導訪問に向けた指導案作りなどなど。

学校にはいろんな子供がいます。LD児などもいるか



もしれません。字が読みづらい、計算などを覚えにくい、漢字を認識できない等。「やる気がない」「練習不足」で片付けてしまっては子供を傷つけてしまうことになります。

生徒指導、倫理確立、共通していることがあります。それは「人それぞれ違う」ということ、「自分だけが正しいのではない」ということ。価値観の押しつけや、狭い良識での対応のおそろしさについて、再認識した研修になりました。

## 7月23日（水）教育課程・カメ

本日は、入間地区教育課程研究会のため、ほとんどの教員はオンラインで参加です。全教科で会があるために、冷房が効く教室にこもって研修していました。

朝、池の水が増えていることに気づきました。カメたちが甲羅干しをする岩が隠れてしまっていました。教頭先生にそのことを伝えると、すぐに改善してくれました。甲羅干しができずにいたカメたちが、競うように上ってきたところを写真に撮りました。それにしても、水の中にいた方が気持ちがいいのにと感じてしまいます。



## 7月22日（火）会議・研修

今日から夏休み。子供たちには毎日すぐーるで、何かしら発信をしていこうと思います。職員は、会議、美化作業、備品整理、研修で一日を過ごしました。トイレ掃除を終えた職員は汗だくで、その苦勞を話してくれました。研修では「人権」について、「国語」「算数」で問いを引き出す授業について、熱心に学びました。



## 7月21日（月）鳥

用事があって外出したときのこと。暑さのため、帽子をかぶりできるだけ日陰を歩いていました。進行方向の視



界に飛び込んできたのは、カメラを持った人。私の頭上をねらっているようです。思わず足を止め、同じ方向を見ました。「まぶしいなー」「暑いなー」と思いながら視線をあげると、**真っ白な鳥**。「シラサギ」なのでしょうか。青空に映える一羽の鳥でした。

## 7月20日（日）読書

本日は午後、のんびりと読書をしました。外は暑く、室内で過ごすのが一番になってしまう日です。先日他界したスーパースターの**自伝**、大スターの**弟子**のエッセイ、そしてなかなか映画で見ることができなかったノンフィクション。これは、学校で起きた事件を小説にしたもので、本当にこんなことがあるのかと少し懐疑的に読み進めましたが、**事実は小説より奇なり**なのです。



## 7月19日（土）お祝い

以前お世話になった勤務先での上司が、大きなすばらしい賞をいただきました。そのお祝いで、当時の同僚があつまりました。すでに**十年以上前**のメンバーです。一緒に勤務したのは**一年間**。出会いは**長さ**ではないとはよく言いますが、あの時の出会いは今でも私たちの大きな財産になっています。このような出合いを、いつまでも大事にしたいものです。



## 7月18日（金）終業式・あゆみ・安堵

一学期の終業式。校長の話は、「最後まで黙って聴く」のではなく、校長が言いたいことを**予想**する学び合いをしてもらいました。「特に増やしたい**学習態度**」「特に増やしたい**あいさつの姿**」「特にがんばってもらいたい**夏休みの活動**」などです。子供たちの予想の集計、私が言いたかったことについては、学校だより（夏休み特別号）にてお



知らせたいと考えています。

あゆみを担任から一人ひとりに手渡しました。今年から所見欄をなくしたので、よりていねいに「努力点」「よさ」「成果」「課題」を伝えました。あゆみをもらって教室に戻る子のほとんどは、とってもいい表情をしていました。一人ひとりに聞いたわけではありませんが、この表情が物語っているのは「一学期がんばりました。先生もそれを認めてくれました。二学期もがんばります」だったと予想します。

子供たちが下校した後、職員が集まりました。今年初めて社会人になったルーキーは「反省もあるけど、先生方のおかげでなんとか一学期を終えることができました」と語ってくれました。安堵の表情がとっても印象的でした。様々なことに悩んだり喜んだり感動したりと、初めての経験をたくさんしたと思います。お疲れ様でしたと、心の底から言ってあげたいです。



## 7月17日（木）掃除・学校・折り紙

朝、校内を回ると、机イスが廊下に並んでいる教室を見つけました。中に入ってみると、きれいに掃除されています。ワックスがかけられ、コーティングされたようです。学期末を感じます。昨日は出張だったので、校内の様子を見ていません。校内を回ってみて想像を巡らせました。大掃除をしたクラスあり、お楽しみ会をしたクラスあり、テスト（なおしを含め）祭だったクラスあり。

登校してきた一年生に、「小学校は楽しかった？」「何が一番楽しかった？」と聞いてみました。「水遊び」「友達といっしょに遊んだこと」「体育館でやったドッチボール」「国語の勉強」「テストで100点取ったこと」「図工でいろんな物を作ったこと」などと、明るい表情で答えてくれました。一年生にとっては、人生の土台作りとも言える思い出深い四ヶ月になったはずです。

出張前の朝、数人が校長室にやってきました。すぐーる



で配信している**問題**を解いた子、お楽しみ会で使う「私はだれ」の**録音**を頼みに来た子、**算数チャレンジ**のなおしを持ってきた子、作った**折り紙**をプレゼントしに来てくれた子、などです。折り紙は「キン肉マン」だそうです。今年は九九検定やわり算検定を始める前から、来室者が多く、嬉しい限り。来週から**寂しく**なります。



## 7月16日（水）作品展・タイピング・水

五年生が図工で作った**ビー玉**コースター。その作品展が行われました。たくさんの子が、この力作を観るために集まりました。観るだけでなく、ビー玉を**転がして**楽しく遊ばせてもらっていました。会場から出てきた子たちに聞いてみると、皆「**楽しかった**」「**おもしろかった**」と話してくれました。「**迷路**みたいだった」「**いろんなコース**があった」「**ゴール**するのが難しかった」と作品に対して、高い評価をしてくれていました。主催者の五年生も嬉しそうでした。



三年生がPCに**キーボード**をつなげて**タイピング**の練習をしていました。一年生から行っているのですが、久しぶりだった子は「**初めてやる**」と言っていました。片手で、**指一本**で課題を打ち込む子が半数ですが、多くの子は**両手**で打ち込めています。これからは、**タイピング**は**大事なスキル**になります。早く、**正確**に打てるようにしていきたいものです。



晴れ間が見えた時間をねらい、**一年生**が**ペットボトル**や**ビニル袋**を持って外に出てきました。水遊びの時間が始まりました。初めのうちは、作った**的**をねらって放水していた子たちが、**友達**をねらい始めました。着替えを持ってきているようで、かけられた子も**大喜び**をしています。時間がたつと、**ビニル袋**いっぱいに入れて、**友達**を追いかける**猛者**も現れました。私はできるだけ**近づかず**に参観させてもらいました。



## 7月15日（火）大雨・野菜・マナー

朝突然の大雨。すでに子供は家を出ている時刻だったと思います。すぐに数人で登校の様子を見に回りました。私たちの心配をよそに、この大雨を楽しんでいる子もいました。登校後は、「体育着に着替えるよう」に放送を入れましたが、下着や靴下の替えはなく、午前中を濡れた体で生活した子もいました。予測できない天候に備えて、着替えや登校の仕方などなど、準備が必要だったと感じました。

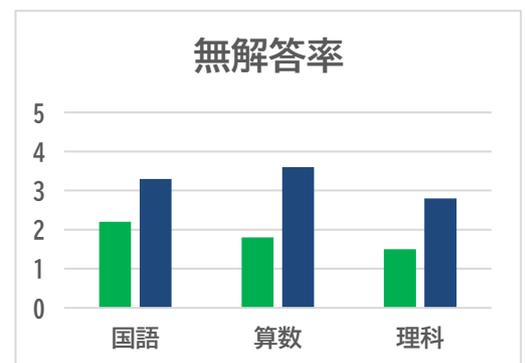
五時間目、また雨が降ってきそうな雲もありましたが、まぶしい太陽も出てきました。そんな校庭で楽しそうに水をかけ合っていたのは二年生です。「野菜収穫フェスティバル」です。収穫した野菜を描いた紙を体につけて、水を運びます。対戦チームは、水鉄砲で野菜の紙をめがけて放水します。朝「ビチョビチョだ」と言っていた時とはまったく違った表情で「ビチョビチョだ！」と叫んでいました。水に始まり水に終わる日になったでしょう。

六年生が「マナーはなぜ必要か」、対話をしていました。道徳の時間です。顔を合わせて、真剣に対話が続いていました。「ほめられる」「友達が増える」「信頼関係ができる」「気分が悪くならない」「安全に生活できる」「笑顔が増える」「法律ではできないことを補ってくれる」などなどの意見が出ていました。となりの輪では「マナーは守るべきかどうか」を対話していました。本音が出てきて、それぞれの考えが深まる、とってもよい時間だったはずです。



## 7月14日（月）結果・砂・物

全国学力学習状況調査の結果が届きました。毎年、夏に届く学校への通知票のようです。今年もドキドキで結果を確かめました。伸びている教科もありましたが、課題はたくさんありそうです。これからいねいに分析していきたいです。ただ、本校の一番の課題であった「無解答率」



はだいぶ下がりました。全国平均と比較しても、低い結果となりました。

五年生が砂を顕微鏡で観察していました。いろんな砂があり、その違いを学び合っていました。鳥取砂丘、ギザ砂漠（エジプト）、エアーズロック、グリーンサンドビーチ（ハワイ）、宮島、石垣島、琴ヶ浜などの砂を観察していろんな声が聞こえてきました。「ダイヤモンドみたい」「めっちゃきれい！」「黒い！」「立体的だ」「いろんな色がある！」などなど。夏休み、いろんな砂を観察する自走する子が登場するのを楽しみにしています。

あるクラスで物の大切さについて先生が話していました。先週の大掃除で、たくさんの文具などが出てきたようです。先生が一番力強く語っていたのは、「家の人が、みんなのために働いて、買ってくれたもの」であるということ。なくなったときに気にしないことが問題だと話していました。小さくなったえんぴつ、消しゴムなども、大事にしてもらいたいものです。



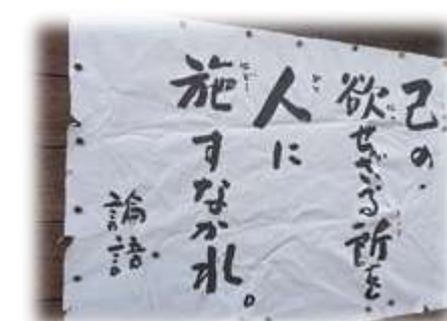
## 7月13日（日）地球を救う

近所の図書館には、「地球を救おう」ポスター展がありました。小学校、中学校の優秀作品が並んでいました。小学校の最優秀賞は、すばらしい作品だと思いました。枯れた草木、汚れた水を、きれいにしたいという思いが伝わってきました。こんな絵の具があれば、地球が救えるのにと本当に思っていました。この暑さも、この作者がよい絵の具を発明してくれたら、落ち着くのではないか、汗だくでそんなことを考えてしまいました。



## 7月12日（土）論語

散歩中に、右の掲示を見つけました。論語です。「己の欲せざる所を人に施すなかれ」とあります。私も若い頃は子供たちに「自分がされて嫌なことは人にするな」「自分がさ



れたらうれしいことを人にするのだ」などと言っていました。「発達障害」という言葉もあまり聞いたことがなく、そもそも勉強不足だったのです。反省しています。今では絶対に言いません。「嫌なこと」「うれしいこと」は**人によって違う**からです。**若気の至り**を思うということは、歳をとった証拠です。

## 7月11日（金）外遊び・支援・作文

久しぶりに子供たちが**走り回って**遊ぶ姿を見ました。昼休みです。雨も上がり、気温も26度ほど。昼休みを知らせるチャイムが鳴ると、ダッシュで校庭に飛び出していく子がたくさんいました。**鬼ごっこ**する子を見るのも久しぶり。見ているだけで暑くなり、うれしくなりました。

**四年生**の体育、体育館でマット運動をしていました。ある子が側転の練習をしていましたが、完成にはほど遠い演技。それを見て先生や私はちょっとしたアドバイスをしました。しかし、その友達は違う支援をしました。「ちょっと**見て**」「手だけ**見て**」と、2回技を見せていました。本当の支援は、このように「何をしてほしいか」に寄り添った支援なのでしょう。

**一年生**の国語では「いつ」「なにをした」を作文する学習に取り組んでいました。悩んでいる子に聞くと「みんなで川に行ったんだけど**いつだったか**分からない」という子が数人いました。したことは覚えているのですが、いつだったか、**どこへ行ったか**を考えてしまう子がいるのです。私に「僕が〇〇に行ったの、四月だと思う？五月だと思う？」と聞いてきた子もいます。それだけは、分かりません。**力になれません**でした。



## 7月10日（木）メダカ・宿題・俳句

**五年生**がメダカの観察をしていました。視線が集まる容器内には、**オス**と**メス**が一匹ずつ泳いでいます。絵を書



いて、そこに気づいたことを書き込んでいます。「目がとっても大きい」「目の周りは緑」「上から見ると線がある」などです。二匹の絵を書き終えたこの一人が、「下のひれはオスの方が大きい」と書きました。オス・メスの違いに気づいたようです。

夏休みが近づいてきました。あるクラスの廊下には、夏休みの宿題コーナーが作られました。休み中の課題が、少しずつ貼り出されています。私は小学校の頃、この宿題が大嫌いでした。たいてい8月30日になると日記を書き始め、最終日に一研究を行っていました。「早くやればいいのに」と親にも言われるのですが、「やれない」のでした。今の扇っ子の中にはこんな子はいないでしょう。私とは逆にさっさと終わらせてしまう子もいると聞きました。

三年生の教室に俳句が貼り出されました。五七五を守って表現できているのですが、一つ惜しいと思うことがありました。それは「楽しいな」「うれしいな」で終わっている句ばかりなこと。気持ちは分かるのですが、同じような句が並ぶことになっています。逆に、この2つの言葉を使っていない句は、輝いて見えました。

夏休み 川で家族と スイカわり  
夏休み 宿題多い がんばるぞ



## 7月 9日 (水) おはし・調理・体験

一年生がおはしの正しい使い方について学びました。3つのスポンジを重ねたり、輪ゴムを運んだり、実際におはしを使って練習しました。正しくおはしを持って使っている子にとっては簡単な作業ですが、そうでない子にとっては非常に困難な課題です。スポンジをつかむのに苦労している子もいました。正しくおはしを使えると、正しく食べることができる。正しく食べられれば健康につながることを、一年生なりに分かったと思います。

1, 2時間目におうぎ学級が調理実習を行いました。これまでの経験では、2時間目の始めに行けば出来上がるま



での一番**おいしい過程**を見ることができました。しかしこの日、2時間目が始まった時に行ってみると、すでに片づけが始まっていました。毎月行っているのに、作業が早くなっていることが分かりました。この日は、**ご相伴にあずかる**ことは、できませんでした。

本日より三日間、**向原中学校の生徒（2年生）5人**が、本校にて社会体験チャレンジに取り組みます。できるだけ多くの学級に入ってもらおうと計画を立てました。**六年生**の算数では、子供たちの前に出て、問題を解いていた生徒さんがいました。いきなりだったので、三年前に解いたはずの問題に戸惑ってました。中学生でも苦勞する問題に、今、六年生は取り組んでいます。



## 7月 8日（火）白緑・手紙・民生委員

体育朝会で、運動会の**色分け抽選**を行いました。各クラス代表の子がステージに上がり、ランドセルを一つ選びます。進行の合図でランドセルを開けると、**白か緑のバトン**が入っているという演出。体育館は大いに盛り上がりました。運動委員会の子の説明を聞くと低学年の子から「**おもしろそうー**」という声が、ランドセルを開ける瞬間にはそのクラスでは「**ドキドキするな**」という声が上がりました。もちろんバトンの色が分かった瞬間には、**歓声**や**落胆**の声が上がりました。最高の演出、存分に楽しませてもらいました。



**四年生の子**が国語の学習で**暑中見舞いの手紙**を書いていました。誰宛に書くのかを一通り見回って確かめました。一番多かったのが**社会科見学でお世話になった方**（プラネタリウム、児童センター）です。次に、**普段会えない親族**（祖父母、いとこなど）。次いで、**昨年度お世話になった先生**、習い事の先生・コーチ、放課後保育の先生でした。ある子は「**緊張して手がブルブルする**」と言いながら、こわごとえんぴつを走らせていました。



**民生委員・児童委員**の方との情報交換会を行いました。

会の前には、授業参観もしていただきました。「子供たちが気持ちよくあいさつをしてくれた」「がんばって勉強していた」「何の勉強しているかを聞いたら、しっかりと説明してくれた」などの感想をいただきました。日頃から学校外の子供たちを見守ってくださっている方々です。話題は、児童虐待、交通事故、川の事故、「コ食」（令6学校だより44号参照）などについて及びました。



## 7月 7日（月）音読・七夕・比

一年生が「おおきなかぶ」の音読に取り組んでいます。グループごとに担当を決めて、劇のようにして完成を目指して活動が始まりました。練習の中でもリーダーシップをとる子が出てきます。各グループのリーダーがこだわっていたのが立ち位置です。「おじいさんだから、こっち」「ナレーターはここに立って」など。なかなか音読が聞こえてこないグループは、準備に時間をかけているのです。



七夕、7が3つ並ぶ日となりました。学年コーナーや教室には、願い事が書かれた短冊が掲示されました。将来の夢や、家族の幸せ、達成したいこと、成長したいことなどの中に混じって、世界平和を願うものがありました。「みんながずっと幸せでいますように」「世界中が平和になりますように」「これからもずっと周りの人が笑顔でいられますように」などなど。これらの願い事が叶うことを心から祈る一日となりました。



五年生の理科ではおもしろい課題で学び合っていました。「タラは一匹で約100万の卵を作るのに、海はなぜタラだらけにならないか」。受精できないから、人が獲ってしまうから、つぶれるから、育つ環境ではないから、他の生き物に食べられるから、卵に異常があるから、などの意見が出ました。一番多かった意見は「人が獲る」でしたが、最後には納得する答えを導いたようです。



## 7月 6日(日) チャンピオン

オフ。午前中は用事があったので出かけました。午後、家で仕事をしようと思ったのですが、昨日のことがあったので暑くても外に出ようと意を決し、近くの公園に行きました。そこで世界チャンピオンに合いました。大道芸をしていた人は、ヨーヨーの世界チャンピオンになった人だったのです。さすがの技に見とれてしまい、暑さを忘れましました、と言いたいところですが演者の動きを見て、暑さが増した感じでした。



## 7月 5日(土) 野菜

休日出勤、退庁時に二年生の畑が気になって行ってみました。ナスやトマトが大きく育っています。猛暑が続く中、張り切って育ってくれているようです。汗を拭きながらナスを見ていると、花の美しさを感じることができました。早く涼しい場所に避難したくなる日でしたが、立ち止まってみてよかったと思いました。



## 7月 4日(金) 生きている・券・比

五年生の道徳で、「生きているからこそできることは何か」という問いが出ました。「友達と遊べる」「家族とすごせる」「ゲームができる」「から揚げが食べられる」「サッカーができる」などなどの意見が出てきました。そんな中に、とても哲学的な意見も出てきました。「失敗ができる」「緊張する」「成長する」。すばらしいと思いました。生きているからこそ、失敗もするし緊張もする。そして成長するのです。

三年生の子が数人で校長室を訪れました。「すぐーる」の解答ではないようですが、みな、紙を持っています。「校長先生もどうぞ」と渡された紙は、チケットでした。このチケットがあれば、このクラスの遊びに参加できるようで



す。外遊びができない日が続いていることから、この子たちなりに楽しいすごし方を考えたようです。状況に応じて**楽しみを見つける力**は、将来も役立つはずです。

校内研修の授業研究会。6年生の算数で実施しました。子供たちはよく活動しました。「**最低25分間の学習活動**」を掲げて取り組んでいます。この日は、**35分近く**が学習活動でした。PCを使ったり、**教科書**を見て考えたり、**黒板**に出てきて協議している子もいました。TVに映し出される画面にも、子供が書き込んだ**図**がありました。今年「**問い**」を生むために研修をしてきていますが、大きな成果を感じました。



## 7月 3日 (木) 吃音・野菜・アリ

上智大学の**大学院生**が研究の一環で「吃音」についての授業をしてくれました。授業のねらいは、「どんな話し方の人とも**仲良く話す**にはどうするか」を考えることです。**三年生**の子は、真剣に考えてくれていました。「変だなと思っても**言わない**」「**その人のペース**を大事にしてあげる」「**気にしないで仲良くする**」などなどの意見が授業の終盤には出てきました。



**二年生**の教室に、俳句が掲示されていました。野菜をとった思いを五七五にまとめたようです。素敵な作品がたくさんありました。見た感じだけでなく、触感も駆使した作品が並びました。

**ピカピカの 赤いたいよう ミントマト**  
**ネバネバの 光みたいな オクラだよ**



退庁時、数人の**六年生**に声をかけられました。「**アリ**の行列、大群がいる」とのことです。バスケットコートまで案内されて見ると、確かにかなりの数のアリが大群を成しています。そして、**ある穴**に入ったり出たりを繰り返しているように見えます。少し前には、離れた場所において、この場所まで行列をなして**移動**してきたことも教えてくれました。「明日の**天気**に関係があるのかな」「この穴の**奥**



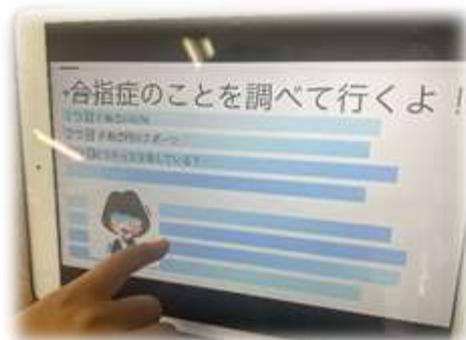
に何かあるのかな」など、**？が残る**会話をして、よい気持ちになって退庁できました。

## 7月 2日（水）掃除・針・会議

**四年生**がバリアフリーについて探究しています。発表の準備が始まっていて、プレゼンの資料がまとまってきています。あるこの画面を見ると「**合指症**」について探究してきたことが分かりました。なぜ関心を持ったのか、知りたくなりました。聞くと「**テレビでたまたま見た**、もっと**調べてみた**くなった」旨を教えてくださいました。探究する種は、どこにあるか分からないものだと思います。

**五年生**の家庭科。今日も、針に糸を通す活動に苦慮している姿を見つけました。一人や二人ではありません。今の私にはできませんが、子供にとってはそれほど難しいことではないはずですが、今は「**スマホ老眼**」なる言葉もあるほど。子供の老眼は深刻な状況だと聞いています。それが原因かは分かりませんが、この日もなかなか糸が通らずにいる子がたくさんいました。扇っ子の良いところは、**投げ出すような子がいない**こと。あきらめません。

入間市「**教育未来会議**」がありました。各小学校の代表と入間市**教育長**が**オンライン**で行う会議です。本校の代表がどのような回答をしたのかは、7月3日メッセージにまとめておきました。「なぜ**給食が好き**なのか」と聞かれた本校の代表者は、次のように答えました。「調理員さんが**愛情**込めて作ってくれている。学校で作るので、**あたたか**いうちに食べられておいしい」「調理員さんが、**栄養バ**ランスを考えてくれている。**安心**して食べられる」と。



## 7月 1日（火）掃除・計算・兄弟

生活目標朝会で、7月の生活目標「**あいさつと掃除**」について話がありました。「**なぜ掃除**をするのか」については、各クラスで学び合いの時間がありました。私が見てい



た三年生の教室では「自分が気持ちよくなるから」「きれいな教室で勉強したいから」「物がなくならないように」「みんなときれいな教室にしたいから」などの意見が出ていました。このような「なぜ？」を考えて、行動に移してもらいたいものです。

一年生の算数では、「ちがいはいくつ？」のひき算の学習に入りました。2つの数の違いを求めるためにひき算をします。ブロックで2つの量を表し、同じ部分を取り除けば「違い」の数だけブロックが残ります。この活動がなかなか難しいのです。難しいからこそ、この日の学び合いはとっても活発でした。ブロックの動かし方について、教え合ったり、確かめ合ったり、助け合ったりする姿がたくさん見られました。

元気っ子タイムで兄弟学級遊びがありました。ほとんどの上学年は、室内遊びを用意していました。私が見ていた教室ではビンゴゲームが行われていました。5×5マスの用紙が配布されます。「50までの数を入れてください。同じ数は使えません」とリーダーの子から指示がでました。難しいことをするなと思っていましたが、ペア（上学年と下学年）で取り組んでいるので、予想以上にすんなりと準備が終わりました。そしてゲームもたいへん盛り上がりました。

